

知られざる南イタリアの田舎町と景勝地 12日間



切り立つ断崖と一体化したような家々/トロペア

トロペア Tropea

カラブリア州のティレニア海に面し、町の3面が高さ約40mの絶壁の上に建つ、ユニークな造り。一級品の海の青さと相まって、他では見られない、とても印象的な町です。その歴史は紀元前にまで遡るほど古く、ローマ時代に最も栄えました。真っ白の砂浜、透き通ったサファイア・ブルーの海、独特の町の景観、日本では知られていませんが、ヨーロッパでは近年注目を集める景勝地なのです。旧市街は中世の趣を色濃く残し、細い石畳の路地にはカフェや土産店が並び、夕暮れには断崖上から黄金色に染まる海を望むことができます。町を象徴するサンタ・マリア・デッラ・イゾラ教会が岬の岩山に建ち、まるで海に浮かぶようなその姿は訪れる人々を魅了します。



(空撮イメージ)

シッラ・キアナレーア Scilla Chianalea



漁船が家に乗り付けられるキアナレーア地区

カラブリア州の先端、イタリアのつま先に位置する町シッラ。砂浜の広がるマリーナ・グランデ地区と漁港があるキアナレーア地区に分かれます。そのキアナレーア地区は、他では見られない魅力ある町並み。山の上から断崖にへばりつくように家が並び、そのまま海に沈み込んでいくかのような、不思議な景観。海沿いの家は、漁船が家に直接乗り付けられるようになっています。以前は、伝統のカジキマグロ漁で賑わっていたが、今は高齢化のため、のんびりとした漁村となっています。

クロトーネ Crotone

カラブリア州で唯一、イオニア海側の港町。町の歴史は古く、ギリシャの植民都市クロトンを起源とする。ピタゴラスが教団を設立し、塾を開いた地としても知られています。近郊のコロンナ岬には、かつてのギリシャ神殿の遺構ドーリア式の円柱が1本のみ残り、絵になる光景です。



コロンナ岬



※写真は全てイメージです。

◆コースのポイント◆

イタリアのつま先と踵部分（カラブリア州・バジリカータ州・プーリア州）だけを徹底的に網羅した12日間のツアーです。これまで取り上げられる事が少なかった知られざる美しい町々や景勝地が目白押し。サファイア・ブルーの美しいイオニア海、趣きある小さな漁村、断崖の上に築かれた町、ギリシャ時代からの歴史を持つ町、白い家々が密集する美しい町・・・また、バロック建築の建物が密集し、「南のフィレンツェ」と呼ばれるレッツェには2連泊。通常のツアーでは訪れない「海に浮かぶ幻の城」のようなレ・カステッラ要塞、「白い迷宮」オストゥーニ、知られざるガルガーノ半島など、とっておきの見所にもご案内します。イタリア好きの皆様には必ずご満足いただける、当社のオリジナル・コースです。ほぼ毎回催行される人気コースでもあります。

レッツェ Lecce

サレント半島の中心に位置するプーリア州第3の町。古代ローマ時代からノルマン朝、スペイン支配と様々な文明の支配の過程で地中海世界独自の複雑に入り組んだ迷宮的な都市空間になりました。また、この町をより魅力的にしたのが、独自の金色の艶を持った石灰岩。粒子が細かく、軟らかく加工しやすいため、細密な装飾にはうってつけの石。この石材を自由に駆使し、すばらしいディティールで飾られたバロックの建築文化が開花したのです。



サンタ・クローチェ聖堂



サンタ・クローチェ聖堂

オートラント Otranto

イタリア最東端の町で、紺碧のアドリア海と城壁に囲まれた旧市街が見所。大聖堂のモザイク画が有名で、聖書や神話を表したモザイク画が床一面に描かれており、人間や動物達がチャタリングに描写されています。「文字の読めない人も聖書や神話を理解出来るように」造られたもの。



大聖堂のモザイク画

レ・カステッラ要塞 Le Castella

16世紀にアラゴン家が建てた要塞。周りを海に囲まれているので神秘的な雰囲気。まるで海に浮かぶ幻の城のようです。乾燥した気候のため、崩壊すること無く、同じ場所に500年以上佇んでいます。青い海にせり出したその姿はまさに絶景。



海に浮かぶ幻の城のよう

カステル・デル・モンテ Castle del Monte

プーリア州の丘の頂きに、八角形の塔を8本巡らせ、八角形の中庭を持つ、八角形の筒状の城が、カステル・デル・モンテ。13世紀、「世界の驚異」と呼ばれた神聖ローマ帝国皇帝フェデリコ2世（フリードリヒ2世）が建造した、構造の全てが「8」という数字に関係している城。何故このようなデザインで建てられたのかは、未だ謎。一説ではフェデリコ2世がイスラム文化に触発され、イスラム世界で天国を寓意する「8」の数字にこだわったと言われています。エルサレムの金のドームも八角形の台地の上に建っています。



(空撮イメージ)



カステル・デルモンテ

| 4月17日発・新日程 | |
|---|----------|
| 出発日 | 旅行代金 |
| 4月17日(金) | 698,000円 |
| 一人部屋利用追加代金：112,000円 | |
| <small>(原則シングルルーム/ホテル側の都合によりツインになる場合もあります。)</small> | |
| 二人部屋の一人利用追加代金：133,000円 | |
| <small>(ツインルームまたはダブルルームを予約)</small> | |

◎利用航空会社：ITA エアウェイズ、フランス航空など裏面リスト内航空会社を利用。
◎添乗員：羽田または成田空港より全行程同行。
◎食事：朝食10回・昼食9回・夕食8回(機内食除く)
◎ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくはお問い合わせ下さい。
◎最少催行人員：10名(最大20名)
◎海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
◎旅券の残存有効期間：帰国時3カ月以上
◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆
◎羽田空港使用料・保安サービス料：3,050円
◎国際観光旅客税：1,000円
◎燃油サーチャージ目安：72,000円(2026年2月現在)

ガルガーノ半島 Gargano

プーリア州北部にコブのように突き出た半島。アドリア海を見下ろしながら断崖沿いを走るドライブは絶景の連続です。半島の先端のヴィエステは海を見下ろす階段状の路地と白い家々が美しい町。ビーチの中にそびえる巨大な石灰岩ピッツォ・ムンノの光景も圧巻です。また、ガルガーノ半島には、5世紀末に大天使ミカエルが降臨したといわれており、その中心地モンテ・サンタンジェロでは、洞窟の中に礼拝堂(世界遺産)があります。純粋さと質素さを合わせもった敬虔なる聖所。フランスのモン・サン・ミッシェルよりも古い、ミカエル信仰の元祖の地です。



ヴィエステのシンボル、巨大な石灰岩ピッツォ・ムンノ



洞窟に造られたサン・ミケーレ・アルカンジェロ聖所記念堂

オストゥーニ Ostuni

まさに「白い迷宮」と呼ぶにふさわしい町。建物の飾り部分を除き、壁は全て白に塗る規則があります。階段や起伏のある迷路の左右は観光化されていない白い住宅が続きます。



(空撮イメージ)



カステル・デルモンテ

| 都市名 | スケジュール |
|---------------------------------------|--|
| 1 東京 | ■昼(12:40)、羽田空港より、空路、ローマ乗り継ぎ、イタリア半島のつま先のレッジョ・ディ・カラブリアへ。 ■深夜、着後、ホテルへ。 <レッジョ・ディ・カラブリア泊> 日 日 団 |
| 2 レッジョ・ディ・カラブリア(シッラ) | ■午前、レッジョ・ディ・カラブリア市内観光。紀元前5世紀の「リアーチェのブロンズ戦士像」を展示する国立博物館○、ロマネスク様式のドゥオーモ○、「イタリアで最も美しい1キロ」といわれる海岸通りのルンゴマーレ・ファルコマータ○などにご案内します。 ■午後、シッラに立ち寄り、漁港のあるキアナレーア地区○を散策。観光後、カラブリア州の知られざる景勝地トロペアに向かいます。 <トロペア泊> 日 日 団 |
| 3 トロペア滞在 | ■午前、トロペア市内観光。トロペアは、町の3面が高さ約40mの絶壁の上に建ち、一級品の海の青さと相まって、他では見られない、とても印象的な町です。カテドラル○、エルコレ広場○、海に突き出した岩山の頂上にあるサンタ・マリア・デッリゾラ聖所記念堂○などにご案内します。 ■観光後、自由行動。 <トロペア泊> 日 日 団 |
| 4 トロペア(レ・カステッラ)(クロトーネ) | ■午前、イオニア海に面した港町・クロトーネへ。途中、16世紀のアラゴン家が造った海に浮かぶ幻の城のようなレ・カステッラ要塞○に立ち寄ります。 ■午後、ピタゴラスが教団を設立し塾を開いた地・クロトーネの観光。16世紀のスペイン時代の城跡○、コロンナ岬のギリシア遺跡○など。観光後、紀元前からの歴史を持つ町コゼンツァへ。 <コゼンツァ泊> 日 日 団 |
| 5 コゼンツァ(チヴィタ)(マテラ)ターラント | ■午前、コゼンツァの観光。中世の街並みが残る旧市街を散策し、大聖堂○などにご案内します。 ■午後、「イタリアの最も美しい村」で、アルバニア人によって築かれた町チヴィタの観光。サンタマリア・アッスンタ教会○などを訪れます。観光後、世界遺産の洞窟都市・マテラ○に立ち寄り、プーリア州のターラントへ。 <ターラントまたは近郊泊> 日 日 団 |
| 6 ターラントレッツェ | ■午前、ターラント市内観光。国立考古学博物館○、ドゥオーモ○、城○など。その後、バロックの町レッツェへ。 ■午後、レッツェ市内観光。バロック様式の美しいサンタ・クローチェ教会○、大聖堂広場○、サン・トロンツォ広場○などにご案内します。 <レッツェ泊> 日 日 団 |
| 7 レッツェ滞在(オートラント)(サンタマリア・ディレウカ岬)(ガリポリ) | ■午前、イタリア最東端の町で、晴れた日にはアルバニアも望むオートラントへ。床一面を覆う美しいモザイク画が有名な大聖堂○、城壁に囲まれた旧市街の散策などにご案内します。 ■午後、「イタリアのかかと」サレント半島の最南端、サンタ・マリア・ディ・レウカ岬○を訪れます。その後、美しい小さな港町ガリポリ○に立ち寄り、レッツェに戻ります。 <レッツェ泊> 日 日 団 |
| 8 レッツェ(プリンディシ)(オストゥーニ)(カステラーナ洞窟)バーリ | ■午前、プリンディシにて、アッピア・トラヤヌス街道の終着地を示すコロンナ・ローマナ○にご案内。その後、丘の上に密集する白い家並みが印象的なオストゥーニ○に立ち寄ります。 ■午後、巨大な天然の大鍾乳洞、カステラーナ洞窟○へ。「断崖の洞窟」までご案内します。観光後、プーリア州の州都バーリへ。 <バーリ泊> 日 日 団 |
| 9 バーリ(カステル・デルモンテ)バルレッタ近郊 | ■午前、プーリア州の州都バーリ市内観光。城○、サン・ニコラ聖堂○、カテドラーレ○など。観光後、丘の上に造られた、造りも中庭も八角形のカステル・デルモンテ○を見学にご案内します。 ■午後、かつて十字軍のパレスチナ遠征の出発拠点であったバルレッタの観光。サント・セボルクロ大聖堂○、「バルレッタの決闘」で知られる決闘の広場○など。 <バルレッタ近郊/アドリア海沿いのリゾートホテル泊> 日 日 団 |
| 10 バルレッタ近郊滞在(ガルガーノ半島)(ヴィエステ) | ■終日、アドリア海に突き出した、プーリア州の秘境ガルガーノ半島の観光へ。モンテ・サンタンジェロにて、洞窟の中に造られたサン・ミケーレ・アルカンジェロ聖所記念堂○(世界遺産)、聖マリア・マッジョーレ教会○などにご案内します。途中、階段状の路地と白い家々が美しい町ヴィエステにて、昼食と散策をお楽しみ下さい。ビーチの中にそびえる巨大な石灰岩・ピッツォ・ムンノの光景は圧巻です。観光後、バルレッタ近郊に戻ります。 <バルレッタ近郊/アドリア海沿いのリゾートホテル泊> 日 日 団 |
| 11 バルレッタ近郊バーリ | ■朝、バーリへ向かいます。 ■午前、空路、ローマ乗り継ぎ、帰国の途へ。 <機中泊> 日 日 団 |
| 12 東京 | ■午前(10:25)、羽田空港着。通関後、解散。 |

※教会、修道院などは、突然のミサや巡礼の時期、その他の理由で入場出来ない場合もございます。その場合、代替観光にご案内します。※成田空港発着となる場合もございます。成田発となった場合、空港使用料・保安サービス料は3,160円となります。

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービスします。

ガリポリ Gallipoli

サレント半島西岸に位置し、「イオニア海の真珠」と呼ばれる美しい町。橋1本で繋がった小島の中に旧市街があり、バロック様式の大聖堂を中心に迷路のような中世の街並みが広がります。かつてはオリブオイルの貿易で繁栄した町ですが、現在は漁業と観光が主産業となっています。



(空撮イメージ)